

(別紙) 令和3年度第1回佐世保市地域包括支援センター運営協議会議 各運営委員からの意見及び質問の集約

協議会 役職	所属団体	役職名	氏名 (敬称略)	審議(1)新会長、副会長の 選出について(票数)		審議(2)今後の運営協議会の開催について			審議(3)前年度の事業実績報告について	審議(4)令和3年度 指定介 護予防支援委託事業所の承認
				会長	副会長	①会議の方法	②時間帯	意見	意見	意見
会長	一般社団法人 佐世保市医師会	千住博内科 院長 佐世保市医師会 理事	千住 晋	3		WEB会議	平日の夜間	特に意見なし	特に意見なし	特に意見なし
	一般社団法人 佐世保市歯科医師会	-	太田 信敬			WEB会議	平日の夜間	特に意見なし	特に意見なし	特に意見なし
	一般社団法人 佐世保市薬剤師会	常務理事	中村 三喜雄		1	WEB会議	平日の夜間	書面審査では、返答内容によってまた新たな疑問が生じたとき、再確認する方法がないため	○活動報告書がカラーとなり、とてもわかりやすくなった。(感想) ○地域ケア個別会議のWeb環境の充実度合によって、各地域ごとの開催件数に大きな差が見られます。個別会議では、個々の問題点の解決だけでなく、地域全体の問題点の把握につながるため、市が主導してのWeb環境整備が望まれます。	○委託事業所の承認には、特にありません。 ○件数割合で、日宇地域では、同法人の集中度が改善されているのに、早岐地区での同法人の件数、集中度がおよそ倍になっているのは、問題ではないのか。理由があればお聞きしたいです。
副会長	佐世保市民生委員児童委員 協議会連合会	副会長	永島 厚子		1	WEB会議	平日の午後or 平日の夜間	特に意見なし	資料P18令和2年度 その他の業務報告 <研修会・健康教育・苦情相談> 苦情相談について質問します。 ①13件の苦情相談内容(事例)について ②苦情相談の内容について包括間での研修の場は設けられているのか(9地域包括支援センター代表者間での事例研修)	特に意見なし
	佐世保市 介護支援専門員連絡協議会	北部ブロック長	吉田 浩一郎			WEB会議	平日の午後	感染症対策としてwebでの開催を望みます。 協議会への参加について、動きやすさもあるかと考えます。	特に意見なし	特に意見なし
	佐世保市 訪問介護事業所連絡協議会	運営委員	吉田 佐代子			書面審査	-	特に意見なし	特に意見なし	特に意見なし
	公益社団法人 長崎県理学療法士協会	理事	永木 照彦			WEB会議	平日の夜間	WEB会議においても上記の時間帯がよろしいかと思えます。	○どの地区も介護認定率を下げようとしてご尽力されていることと思います。その中で大野包括圏域のみ上昇しています。その理由は？ ○コロナ禍であり地域ケア個別会議等、WEB会議を行っている地区もあるようです。そこでWEB会議をやった良かったこと、悪かったことを教えていただきたい。 ○日宇地区の取り組みにも記載していましたが、地域ケア個別会議の資料を事前配布とICTの活用は、今後どの地区にも行っていただいたら、助言者の立場としては、とても助かります。	特に意見なし
	長崎県弁護士会	弁護士	横田 雄介			WEB会議	平日の午前or 平日の午後	特に意見なし	特に意見なし	特に意見なし
	長崎国際大学 人間社会学部 社会福祉学科	講師	久田 貴幸			書面審査	平日の午前or 平日の午後	特に意見なし	特に意見なし	特に意見なし
	佐世保市老人クラブ連合会	事務局長	橋川 春幸			WEB会議	平日の午後	特に意見なし	特に意見なし	特に意見なし

※指名以外の票は、「事務局へ一任する」票です。

(別紙) 意見・質問への回答

Q	指定介護予防支援委託の件数割合で、日宇地域では、同法人の集中率が改善されているのに、早岐地区での同法人の件数、集中率がおよそ倍になっているのは、問題ではないのか。理由があればお聞きしたいです。
A	早岐地区では、事業所は複数あるものの、事業所ごとのケアマネの数などにより受けられる件数に限りがあり、それに伴い委託を振り分けた結果やむを得ず同法人の事業所の割合が増えてしまっているものです。
Q	コロナ禍であり地域ケア個別会議等、WEB会議を行っている地区もあるようです。そこでWEB会議をやって良かったこと、悪かったことを教えていただきたい。
A	コロナ過において、感染対策のために様々なイベントや会議等が中止となる中、WEB会議をすることで、3密の回避や、移動時間の削減などのメリットがあると考えております。 デメリットとしては、通信設備環境の調子が悪いときは会話が途切れたりすることなどがあります。
Q	どの地区も介護認定率を下げようとしてご尽力されていることと思います。その中で大野包括圏域のみ上昇しています。その理由は？
A	大野地区では、令和元年度と比較して令和2年度は相談件数が約500件増加しております。それに伴い、介護認定申請につなぐケースが増え、介護認定率の増加につながっていると考えられます。
Q	苦情相談の内容について包括間での研修の場は設けられているのか？ (9地域包括支援センター代表者間での事例研修)
A	苦情専門の研修ではありませんが、定期的に行われている県主催の研修等への参加や、毎月のセンター長会にて、センター長間での情報共有の場を設けております。
Q	1
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービス事業所への不満。</li> <li>・ケアマネが自分の意に沿った支援をしてくれないというもの。</li> <li>・ケアマネを変更して欲しいという不満。</li> <li>・ケアマネの説明不足に対する不満。</li> <li>・居宅介護事業所より、対象者について引き継ぐ際の情報提供不足について。等</li> </ul> ※市民が地域包括支援センターに対しての苦情や、市民が利用している介護保険サービス事業所への不満、介護保険サービス事業所からの苦情等が含まれております。